

# PEARL BOWL TOURNAMENT



X League  
X League  
NEWS 2006.05.08

発行：エムアイブランニング  
監修：日本社会人アメリカンフットボール協会

# オービック 2連覇へ



## ◆辛くも初戦突破◆

昨年度、2冠を達成したオービックが初戦を辛くも勝利した。オービックは初戦ということで堅さがあったのだろうか、第1クォーターは両者譲らず無得点のまま終えた。ゲームが動いたのは第2クォーター9分、オービックがゴール前8ヤードからQB・井上（#11）からFB/SB・岩崎（#24）へパスがつながり先制のタッチダウンを決める。第4クォーターにはまたしてもQB・井上がSB/TE・安東（#98）へタッチダウンパスを決めダメ押し点を挙げた。パス獲得ヤードは154ヤードと東京ガスの倍以上であるが思うように得点にはつながらなかった。東京ガスを零封で勝利するも本来の得点力に欠けた初戦だった。東京ガスは0勝2敗で予選ブロック敗退となった。（大賀章好）

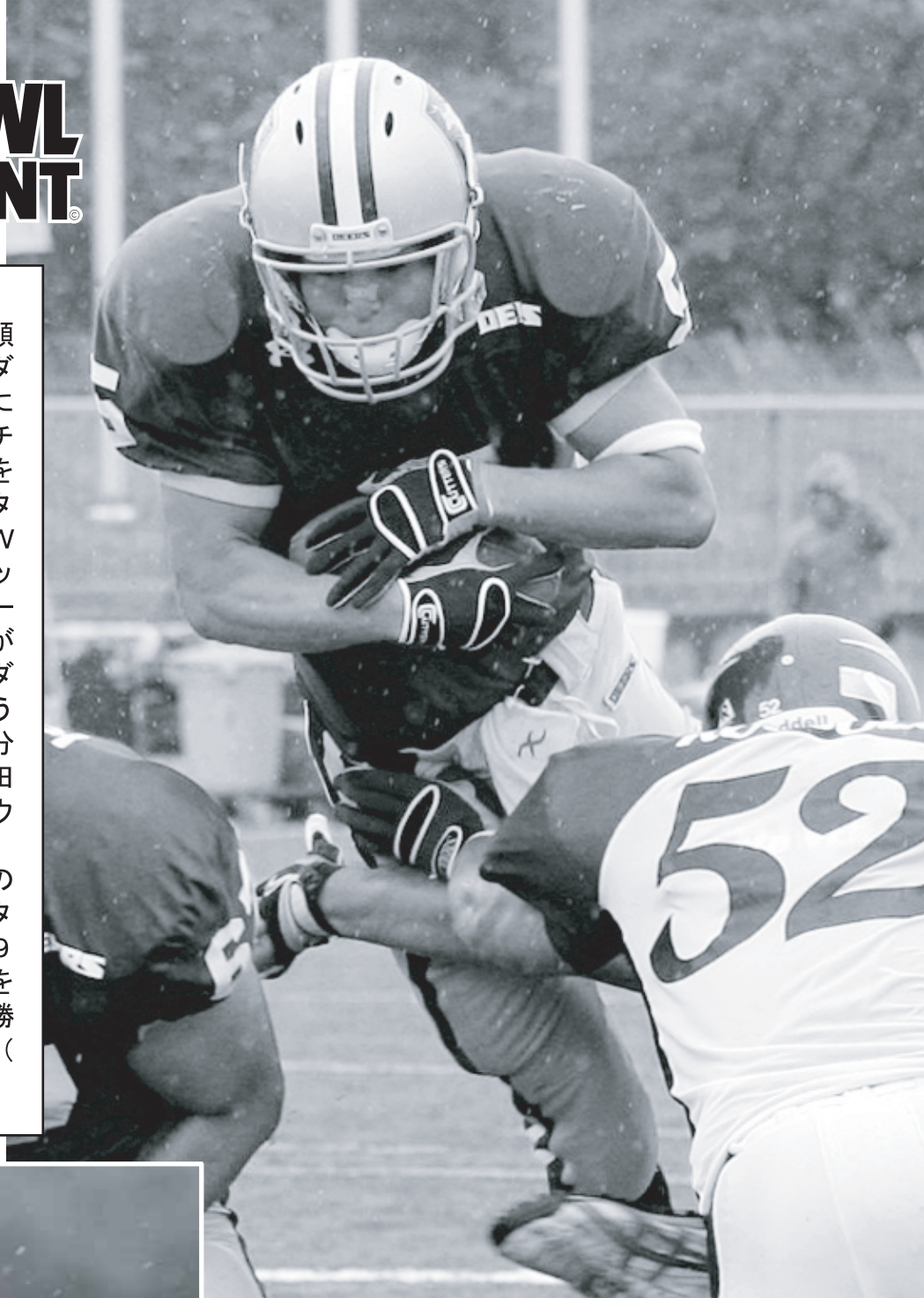
【オービック-東京ガス】3Q7分、オービック・ケビンジャクソン（中央）がパントリターンによるタッチダウンを決め喜ぶオービックの選手ら  
=大井第2球技場（エムアイブランニング・嶋口雄治）

パールボウルトーナメント 第2節  
2006年05月07日（大井第2球技場）

オービックシーガルズ  
1Q:0 2Q:7 3Q:7 4Q:7 = 21

東京ガスクリエイターズ  
1Q:0 2Q:0 3Q:0 4Q:0 = 0

# PEARL BOWL TOURNAMENT



◆鹿島初戦を制するも・・・◆  
一昨年パウルボウルを制した鹿島は順調なスタートを見せた。ファーストダウン、パス、ランとROCBULLに数字で劣った部分もあったが少ないチャンスを得点に結びつけた。先制点を挙げたのは鹿島だった。第1クォーター6分、QB・尾崎（#10）からWR・椎野（#6）へ59ヤードのタッチダウンパスが決まった。第2クォーターには鹿島RB・生田（#28）が相手ディフェンスを飛び越えタッチダウンを決める。反撃のチャンスを狙うROCBULLは第2クォーター8分、QB・吉田（#8）からRB・滝田（#33）へ44ヤードのタッチダウンパスを決めるもTFPが決まらず、得点を重ねる事ができなかった。その後は両者一步も譲らず、第4クォーター終了間際に鹿島DB・荒崎（#19）が44ヤードのフィールドゴールを決め試合終了。ROCBULLは0勝2敗で予選ブロック敗退となった。（大賀章好）



## 鹿島初戦制す

パウルボウルトーナメント 第2節  
2006年05月07日（大井第2球技場）

鹿島ディアーズ  
1Q:0 2Q:7 3Q:7 4Q:7 = 21

ROCBULL  
1Q:0 2Q:0 3Q:0 4Q:0 = 0

【鹿島-ROCBULL】2Q7分、鹿島・山（中央）が飛び込みタッチダウン。19点目を挙げる㊤

【鹿島-ROCBULL】2Q9分、ROCBULL・滝田が走り込みタッチダウンを決める㊤=大井第2球技場（エムアイブランニング・嶋口雄治）